

# 大島丸映像処理システムの更新と運用

松井利幸\* 古賀英司\*\*

A Updated Video Multi-monitoring System on T.S.Oshima-maru and a Few Applications

Toshiyuki MATSUI and Eishi KOGA

## Abstract

The latest computer and peripheral equipment were incorporated in the video multi-monitoring system carried by Oshima-maru completed in December 1993, but held a problem not to cope with lack of disposal of computers speed, lack of storage capacity and the recent optical media. The new system updated in January 2004, improved the problems that the system conventionally such as improvement of processing speed, increase of data storage capacity, record to the DVD media.

The authors describe the outline of the updated system and a few applications.

Key words: Video multi-monitoring system, Multimedia

## 1. はじめに

平成5年12月に竣工した練習船大島丸に搭載された映像処理システムは、竣工当時としては最新のコンピュータおよび周辺機器が組み込まれていたが、コンピュータの老朽化、処理速度の不足および最近の光メディアに出力できないなどの問題を抱えていた。平成16年1月に更新された新システムは、従来のレーダー、交通監視カメラ、機関室監視カメラ、水中ロボットなどのNTSC信号を処理するとともに、新たにDV信号を処理できるものとなった。また、本システムは、映像処理速度の向上、編集機能の充実、データ保存の大容量化、DVDメディアへの記録など従来システムが抱えていた問題の改善が行なわれた。本稿では、更新された映像処理システムの概要とその運用例について述べる。

## 2. システム構成

### 2.1 監視カメラ

図1に大島丸の一般配置図を示す。交通監視カメラは、上部甲板上に前方監視用および後方監視用各1台、船首部分にアンカー等を監視するためのカメラが1台、計3台が設置されている。機関室監視カメラは、機関室の船首側に2台、船尾側に2台、計4台設置されている。これらの7台のカメラの映像は、船橋、機関制御室および教室兼ワーキングルームに設置されているカメラコントローラで操作することができる。甲板上に設置された3台のカメラの操作権は、船橋のコントローラにあり、機関室に設置された4台のカメラの操作権は、機関制御室のコントローラにある。これらのカメラの映像は、教室兼ワーキングルームに設置されている映像処理システムで処理することができるが、ワーキングルームのコントローラでカメラを操作する場合には、それぞれのコントローラで操作権をワーキングルームに切り替えておく必要がある。